



はねいろ
Haneiro
羽田も、世界も、京急で。 **KEIKYU**

FREE PAPER

November 2015

Vol. **04**

心躍る冬の風物詩 
ドイツの 
クリスマスマーケット

羽田発
ドイツへ



Happy
ADVENT
CHRISTMAS

 心躍る冬の風物詩
ドイツのクリスマスマーケット

11月末から約1カ月、大都市から小さな町までドイツ各地で開催されるクリスマスマーケット。それは、宗教に由来はしているけれど、ドイツが一年で一番華やぐ季節の行事。冬本番を迎える時季、人々にとって心躍る一大イベントだ。

いわばドイツの縁日、 クリスマスマーケット

星空を明るく照らすほどにぎやかな屋台群が、氷点下の気温に凍える人々の心を熱く躍らせるクリスマスマーケット。ヨーロッパで最も盛んなのがドイツで、クリスマス(12月25日)の前4週間のアドヴェント(待降節・たいこうせつ)という期間に、ほぼ全土にわたって大小あらゆる「まち」に市場が立ち、この季節の風物詩となっている。

まちの中心地にある広場や通りには、多いところで300近い屋台や装飾物がずらり。クリスマスツリーに飾る各種オーナメント、キャンドル、地元の手工艺品、グリユーワインという名のホットワイン、焼きソーセージなどなど、市場に並んでいるものは実にさまざま。そこを歩くと大人も子どもも思わずワクワクするのは、日本の縁日と同じ感覚のよう。

地元の人々だけでなく、最近では海外からの観光客も多く訪れるという。大都市のマーケットをじっくり散策したり、あるいはいくつかのマーケットをまわるツアーに参加したりするのも楽しい。いずれもドイツの文化や人々の暮らしの豊かさの一端を感じられる絶好の場である。

ここは……

ドイツ東部エルツ山地の山村、アンナベルク=ブッフホルツのクリスマスマーケット。市場としてはこぢんまりしているが、温かみがありアットホームな雰囲気。もともと木彫り人形の産地だけに、大きな木彫りのサンタクロースもお出ましに。

CHRISTMAS MARKET BEST20 MAP

多彩、多数、
にぎやか!



ドイツ国内に点在する クリスマスマーケット



クリスマスマーケット、ドイツ語で「ヴァイナハツマルクト」は、国内で総数2500カ所以上もあるといわれ、アドヴェントの期間中にはほぼどこへ行っても開催されている。しかも、名称から催しの内容まで一つとして同じものはないと言えるほど多彩なのが一番の特徴だ。

マーケットに電飾と屋台は不可欠だが、それに加えてそれぞれの個性を発揮する伝統芸能やアミューズメントなどが毎日のように繰り広げられる。だから、国内のクリスマスマーケット巡りを楽しみにしているドイツ人も少なくない。左ページに、おもな大都市の「6大クリスマスマーケット」をリストアップ。さらに、独自に選んだ14を合わせたベスト20をご紹介。その多彩さを現地ですわってみたいマーケットとしておすすめする。

Haneiro
おすすめ!

どこのマーケットに行く? クリスマスマーケットベスト20

MAP

01

マーケット数世界一の、 ベルリンのマーケット



©visitBerlin/Wolfgang Scholvien

市内のあちこちに100もの伝統的かつ個性的なマーケットが並び、ミニ観覧車やスケートリンクまで出現するのが首都ベルリンならではの。メイン会場は12月31日まで開催しているので、年末旅行にも間に合う唯一の市場。

MAP

04

多彩でファンタジックな ミュンヘンのマーケット



©GNTB/Messerschmidt, Joachim

南ドイツ最大の都市・ミュンヘンのマーケットには「クリストキンドルマルクト」という名称があり、その起源は14世紀までさかのぼる。現在は規模が大きく多彩なのが特徴で、市庁舎前のマリエン広場はツリーに飾るオーナメントの店がひびきわ充実。

MAP

02

「世界最古」を標榜する ドレスデンのマーケット



©GNTB/Kiedrowski, Rainer

ドイツ、いや世界最古といわれるクリスマスマーケットだけに人気も高い。ドレスデン発祥のクリスマスケーキ「シュトレン」に因んで、このマーケットは「シュトリーツェルマルクト」と呼ばれ、12月の第1土曜日にはシュトレン祭りも開催される。

MAP

05

人気観光地・ローテンブルクで 中世のマーケット



ロマンチック街道観光の要所として人気の高い街、ローテンブルク・オブ・デア・タウバーはアドヴェントからクリスマスまでの冬場も魅力的。中世の雰囲気のままに残されている景観と、その街並みにマッチしたマーケットが楽しめる。

MAP

03

世界一有名で盛大な ニュルンベルクのマーケット



©GNTB/Kiedrowski, Rainer

世界的にも有名なこのマーケットは「クリストキンドレスマルクト」(幼子=おさなごキリストのマーケット)という呼称を持つ。全体に中世の雰囲気を残しつつ、アドヴェントコンサートや世界の姉妹都市のマーケット等々、趣向を凝らしたものが勢揃い。

MAP

06

伝統と美しさを誇る フランクフルトのマーケット



©GNTB/Kaute, Jochen

現在、ビルが建ち並ぶ大都市にも、14世紀からクリスマスマーケットの伝統が受け継がれている。メイン会場には200を超える屋台などが並び、毎年、世界中から300万人もの観光客が訪れる。市庁舎前の高さ30mのツリーが見もの。

そのほかのおすすめクリスマスマーケット

MAP

07

ハンブルク

水の都も多彩なイルミネーションに輝く。

MAP

08

ケルン

壮大な大聖堂前広場を埋めるマーケット。

MAP

09

デュッセルドルフ

旅の拠点に絶好の街では市場も個性的。

MAP

10

シュトゥットガルト

装飾が美しい屋台280軒以上は世界最大級。

MAP

11

ライプツィヒ

最も古い伝統を持つマーケットのひとつ。

MAP

12

エスリングエン

中世そのままの町のマーケットは観光客に人気。

MAP

13

ルートヴィヒスブルク

宮殿の町では天使のイルミネーションがお出迎え。

MAP

14

アーヘン

世界遺産の大聖堂を中心に賑わう国境の町の市場。

MAP

15

フライブルク

「黒い森」に隣接する町の市場はエココンシャス。

MAP

16

アウクスブルク

週末の目玉は、天使に扮した市民による演奏会。

MAP

17

リュージュック

グリム童話をテーマにした「メルヘンの森」という市場も。

MAP

18

ザイフェン

山里の「おもちゃの村」では市場も小規模でかわい。

MAP

19

ドルトムント

世界最大という巨大クリスマスツリーがマーケットの中心に。

MAP

20

エッセン

世界各国の料理が並ぶグルメなマーケット。

★開催期間や時間など各地のクリスマスマーケットの情報については、ドイツ観光局のウェブサイト(日本語)などでご確認ください。
www.germany.travel/jp/specials/christmas/christmas.html

好きなものを
買ったたり、食べたたり。
クリスマスマーケットは
元気をくれる!

少しずつ
買い揃える
楽しみがある
オーナメント

クリスマスマーケットで必ず
買うのが、ツリーに飾るオー
ナメント。こういう季節ものは
マーケットで買うしかなく、毎
年、新しいものを増やしたり、
買い替えたりするのも楽しみ
のひとつ。手工芸を大切にす
るドイツらしく、手作りのガ
ラス玉や木製の飾りなどの屋
台が軒を連ねる。オーナメン
トは美しいものが多く、観
光客のお土産にも好評だとか。



飲めば体がぽっかぽかになる、
グリューワイン



クリスマスマーケットで寒さをしのぐ一番の方法といえば、グリューワインを飲むこと。ホット赤ワインにシナモンなどの香辛料とレモン、オレンジのスライスを入れた飲みもので、各都市の名前やマーケットのイラストなどをデザインしたマグカップに入っている。カップのデボジット代込みで1杯2,5ユーロ(約338円)くらい。記念としてこのカップをコレクションする人もいる。お土産として観光客にも人気。

高さ
14.61m

ツリー
の
オー
ナ
メン
ト
の
展
示
台



アドヴェントの期間中、多くの人々がクリスマスケーキを訪れる。平日の昼間は観光客、平日の夕方からはソーセージを肴にグリニューワインを飲む地元の人たち。週末には子ども向けアトラクション目当てに家族連れ。その誰もが、買いものに興じ、飲食で暖をとり、会場の雰囲気ワクワクしながらマーケットを楽しんでいる。とりわけ夜の美しいイルミネーションは見逃せない。一年で最大のイベントであるクリスマスに向けて、ドイツの人々は元気になる魔法の力をそこから得ているにちがいない。

また、ドイツのクリスマスマーケットでは地方色や個別のマーケットの特色が打ち出されていることも覚えておきたい。その土地ならではのマーケットを巡る旅には、新しい体験と発見に満ちているはずだ。

© BAYERN TOURISMUS Marketing GmbH

ケーキにクッキー、ナッツ。 スイーツも必須

クリスマス用のケーキやクッキーももちろんマーケットで調達する。ドイツのクリスマスケーキはシュトレンが定番。ドライフルーツ入りの豪華なパウンドケーキでドレスデンが発祥の地。一方、ニュルンベルク発祥のクリスマスクッキーがレープクーヘン。数種類のスパイスとハチミツがたっぷり入った日持ちのする焼き菓で、砂糖やチョコレードなどで装飾したものをツリーに飾りクリスマスが終わってから食べるという家も。さらに、ドイツ人にとって焼きアーモンドや焼き栗はマーケットグルメの必須アイテム。日本人にもなじみのある綿日っぽいチョコレードがけのフルーツや納め、りんごあめもクリスマスマーケットならではのスイーツだ。

かわいい! レープクーヘン



くろみ(黒米)
人形も
あるよ!

いい匂い! 焼き菓子も!

マーケットでは 欠かせない 本場の焼きソーセージ

ドイツといえば、ソーセージ。マーケットにはソーセージをグリルする屋台が点在し、芳ばしい香りをふりまいている。焼けたソーセージはパンにはさんでくれるのでかぶりつきやすい。ドイツのソーセージは大きいものが普通だが、ニュルンベルクのはサイズが小ぶりなど、各地の特色あるソーセージを味わうのも楽しみ。



Advent
calendar

アドヴェントの期間中、 家庭で着々と準備！ あと少しでクリスマスだから

クリスマス（12月25日）前の4週間はアドヴェント（待降節）。いわゆるクリスマスの準備期間である。ドイツの家庭では、その祝祭日を迎えるまでの日々を記した「アドヴェントカレンダー」という曆を用意する。紙製、布製、木製など素材もさまざまなら、キリスト生誕に関するイラスト入りから引き出しや小窓にお菓子やおもちゃが入っているしかけのある立体タイプまでつくりもいろいろ。最近では、日本でも目にする機会が増えた。こうしてドイツの人たちが指折り数えてその日を心待ちにしながら準備をするのは、クリスマスが年中行事のハイライトだからだ。ここではクリスマスマーケットと連動して、ドイツの家庭で行うおもな準備やアドヴェントの過ごし方をご紹介します。フローエ・ヴァイナハテン（メリー・クリスマス）！

クリップを飾り、キャンドルに火を灯す



クリスマスにつきものなのが、クリップというキリスト誕生の場面を再現した模型。教会やマーケットはもちろん、家庭でも飾らないところはないほど一般的。また、アドヴェントクランツというリースの一種も必需品だ。モミの木のリースに4本のキャンドルを等間隔に立てたものが基本形。教会や商店などでも飾る。アドヴェントの期間中、日曜日ごとにクランツのキャンドルに火を灯していくと、クリスマスへ向けての気持ちが徐々に盛り上がっていく。



プレゼントを買う

もともと聖ニコラウスという実在の人物に由来するサンタクロース。でも、ドイツではクリスマスイブにプレゼントをくれるのは、クリストキント(幼子キリスト)やヴァイナハツマン(クリスマスおじさん)という人なのだから。もっとも、実際には家族や友人でお互いにプレゼントをやりとりする。だから、たいてい人はアドヴェントの間にプレゼント探しに余念がない。



お菓子やごちそうをつくる



シュトレンやレープクーヘンなど、クリスマス用のスイーツをホームメイドで用意する家も少なくない。シュトレンは日持ちするのでアドヴェントの早い時期につくって、毎日少しずつ食べるという習慣がある。さらにクリスマス直前になると、家族や友人とともにする25日のクリスマスディナーの準備も始める。



クリスマスツリーを買う

ツリーに常緑樹を用いるのは、その緑が「永遠の命」を象徴しているから。そして、この時期だけ出現するモミの木市で枝ぶりのいいものを選ぶ。生の木は値は張るが、やはり年に一度のいわば織起物だからはずせない。ただし、モミの木市は早くて12月上旬、だいたいクリスマスの10日前ぐらいから始まるのが普通。



クリスマスツリーを飾る

オーナメントはガラス玉や木のおもちゃなどをクリスマスマーケットで新しく買ってきたり、以前から持っているものを準備する。それらをツリーの枝にかけていき、最後にてっぺんに星(トップスター)を飾る。これはキリストの誕生を告げた星を意味していて、ツリー飾りの最重要アイテム。そして意外なことに、ドイツではツリーの飾り付けを12月23日か、クリスマスイブ(12月24日)に行うのが一般的。子どものいる家では大人が飾り付けを行っている間、子どもは別室で待つことも。しかも、クリスマスが過ぎてても、ツリーは1月6日の公現節までそのまま飾っておく。

★クリスマス関係のアイテムを京急百貨店の「ハッピー アドヴェント クリスマス」でゲットし、ドイツ風クリスマスを楽しもう！(P11参照)。



▶クリスマス用の
手作りクッキー。

▼ケルン大聖堂の前に
展示されたクリスマス
クリップは迫力のサイズ。



ドイツへ Let's Go!

ルフトハンザ ドイツ航空の
CA(キャビンアテンダント)に聞く

クリスマス前に行って
楽しいドイツ!

アーニータ・フォクトさん



ドイツではクリスマスとその前のアドヴェントは、一年で一番盛大な祝祭のシーズンです。私も子どもたちから、アドヴェントの間、日曜ごとにクリスマスキャンダルをつけ、両親とクリスマスシヨッピングに行ったり、クリスマスツリーを飾ったりしていました。そしてイヴの夜、家族全員がクリスマスプレゼントを受け取る瞬間が一番盛り上がったのをよく覚えています。

そんな我が家では、いまでも大切にしているのは、できるだけ家族全員が揃ってクリスマスディナーをとにもすること。ディナーのメニューはオープンで焼いた大きなガチョウに、じゃがいも団子や赤キャベツなどの付け合わせ、サラダ、デザートにクリスマスプディング



▲グリューワインで温まって。ケルンのマーケットにて友人と。

というフルーツケーキが定番です。私が一番好きなクリスマスケーキはケルトンです。大聖堂の前の広場を中心に街全体がクリスマスデコレーションで飾り立てられ、夕方以降はそのイルミネーションが輝き、クリスマスミュージックも流れてムード満点に。クリスマスマーケットならではのキャンドルやおもちゃ、手工芸品のお店だけでなく、美味しそうな匂いをただよわせるお店もずらりと並んで！

毎年、私も友達と連れだつて必ず行っていますよ。マーケットでは、ローストアーモンド、フラムクーヘン(ピザのようなスナック)、ダリユーワインは欠かせません。とにかく、クリスマスマーケットは、この時期の何よりの楽しみなんです。そんなお楽しみ満載のドイツのクリスマスシーズンを日本の皆さんも、現地で体験してみたいかがでしょうか。

現在、ミュンヘン、フランクフ

Lufthansa ルフトハンザ ドイツ航空

ワンランク上のフライトを!
(プレミアムエコノミークラス)

ビジネスとエコノミーの中間に、新しいクラスが登場! 新シートを採用し、座席空間のゆとりが広がりました。陶製の食器で提供される機内食やウエルカムドリンクなど、機内サービスもアップグレード。羽田空港発着の路線を含む、長距離路線でご利用いただけます。

●お問合せ
ルフトハンザ コールセンター 0120-051-844



ルトには羽田空港からの直行便があるほか、ドイツまでの少し長めのフライト時間をより快適に過ごせる新サービスも提供されています。その名も「ルフトハンザプレミアムエコノミー」。ゆったりとした座席空間でのフライトから、ドイツへの楽しい旅が始まりますよ。

羽田空港から ドイツへ

就航都市一覧

DESTINATION GUIDE

2015年10月13日現在



もうすぐクリスマス!

KEIKYU INTERNATIONAL INFO

アドヴェント期間に、楽しくショッピング!

京急百貨店 ハッピー アドヴェント クリスマス

Happy
Advent
Christmas

▼クリスマスピラミッド(スノーマン)/ドイツの職人による手工芸品のキャンドルスタンド。幅164×高さ190×奥行145mm 6,480円(税込) 7階=新・横浜家族の店



▶ホリデースイートカレンダー/待ち遠しいクリスマスまで毎日小窓を開けると、中にはお菓子が。モロゾフ 1,620円(税込)地下1階=菓子売場

同時開催いたします。

また、11月5日(木)〜18日(水)には、ルフトハンザドイツ航空の往復航空券が当たる「ファッシュ」もお買い上げ抽選会にも同時開催いたします。



り揃えております。

- クリスマスセンター
 - 11月19日(木)~12月25日(金)
 - 7階=新・横浜家族の店
- クリスマスおもちゃマーケット
 - 11月19日(木)~12月25日(金)
 - 5階=おもちゃ売場
- クリスマスピラミッド&ツリー
 - 11月5日(木)~12月25日(金)
 - 3階=正面入口

旅先の名画

この一枚をたずねて①

結城昌子（アートディレクター）



▲クロード・モネ「サン・ラザール駅」1877年、パリ、オルセー美術館蔵



▲現在のサン・ラザール駅。パリ市内から郊外へと向かう駅の中では一番古い歴史をもっている。

モネのまなざしにとらえられた
サン・ラザール駅（パリ）

パリ、サン・ラザール駅。市内から郊外へ出るときに利用する、パリの主要ターミナル駅のひとつだ。北西に広がるノルマンディー地方への玄関口といえはわかりやすいかもしれない。数年前に大規模なショッピングモールが併設され、使いやすくなったと評判になっている。実はこの駅、印象派の巨匠クロード・モネが描いた場所としても知られている。

モネの当時、鉄道は日に日に遠くへとのび、蒸気機関車を利用すれば週末を郊外の行楽地で過ごすことが可能になった。パリの人は川辺での水遊び、船遊びに夢中になったという。

若き日の印象派の画家たち、モネやルノワールもこの駅から夢を胸に列車に乗り込んだ。

彼ら印象派の夢。それはうす暗いアトリエの中で描く従来の絵の制作方法を捨て、戸外の明るい太陽光の下で、すばやい筆致で描くこと。モネの「サン・ラザール駅」を見てみよう。新しい時代に力強く登場した蒸気機関車と駅舎を画家が心躍らせて眺める様子が伝わってくる。

しかし絵の中では、鋼の機関車も煙の中の薄茶色のかたまりでしかない。モネの眼がとらえたのは、青空であり、天井のガラスを通して落ちる光であり、煙に映り込む乱反射の方だった。

子ども時代をノルマンディーの海辺の町、ル・アーブルで過ごし、晴れた空の下で描くことの楽しさを学んだモネ。水面に浮かぶ、最晩年の「睡蓮」の膨大なシリーズに至るまで、画家の生涯は、幼いころに知った水辺にきらめく光のたゆたいたともにあつたと言っても過言ではない。パリ市内セーヌ河畔のオルセー美術館で、モネの「サン・ラザール駅」を間近で堪能し、その後、現在の駅に立ち寄ってみよう。モネが心を込めて描いた当時の駅の名残とともに、画家のまなざしを感じられることだろう。

プロフィール

結城昌子（ゆうき・まさこ）
アートディレクター、エッセイスト。武蔵野美術大学卒業。アートとの新しいコミュニケーションを提案する書籍を多数、企画、構成、執筆。さらに国内外の美術館やアート作品にまつわる場所を訪ね、紀行エッセイとして発表するなど、アートと親しくなるというテーマで広く活動中。
www.artand.jp



羽田空港から、とっておきの情報です。

Haneda Tips!

夜の羽田空港で輝く 美しい光の世界



この時季、光の装飾で美しく変身する国際線ターミナル。「羽田 Sky illumination ~誰も見たことのない光」と題し、今年はさらにボリュームアップした光の演出で館内中がきらめきます。

羽田 Sky illumination~誰も見たことのない光~

- 期間/11月2日(月)~2016年2月14日(日)
- 時間/16:00~25:00(予定)
(11月2日は17:00より予定)
- 場所/4F 江戸舞台、広小路、TIAT SKY HALL前
3F 大屋根、大柱、出発ロビー、ホテルエントランス
2F 駐車場連絡橋
1F エントランスプラザ、外溝

羽田 Sky illumination 点灯式

- 日時/11月2日(月) 17:00~(予定)
- 場所/4F 江戸舞台
- 内容/スペシャルゲストによるライブなど

日本の伝統文化を 国際線ターミナルで披露



国際線ターミナルビルでは、日々行き交う、国内外のお客さまに日本の伝統文化の一端を知っていただこうと、今回、イベントを催します。国の重要無形民俗文化財の指定を受けた郷土芸能をご鑑賞ください。

宮崎県高千穂町観光PRイベント



- 日時/11月15日(日)
11:00~16:00(予定)
- 会場/5F お祭り広場
4F 江戸舞台
- 内容/「高千穂の夜神楽」から4つの演舞のほか、パネル展示、物販コーナー、マスコットキャラクター「うずめちゃん」とのふれあいなど

羽田空港国際線ターミナル駅3階、 「ウィングエアポート」オープン! 新店舗もお目見え



10月21日(水)に、京急線羽田空港国際線ターミナル駅の駅ナカ商業ゾーンが、新名称「ウィングエアポート」としてリニューアルオープン。命名式には、この日オープンの「マツモトキヨシ」、「ラオックス」と、先に免税サービスを開始している「セブン-イレブン」の3社が集まり、*出国直前のショッピングスポット。としてお披露目されました。

- マツモトキヨシ ☎ 8:00~22:00 休 なし ※免税あり/空港関連施設初出店
- ラオックス ☎ 8:00~22:30 休 なし ※免税あり
- セブン-イレブン ☎ 6:00~23:30 休 なし ※免税あり



